



石田将太建築設計室

経営理念：調和、正直、感謝、家族、好きこそものの上手なれ

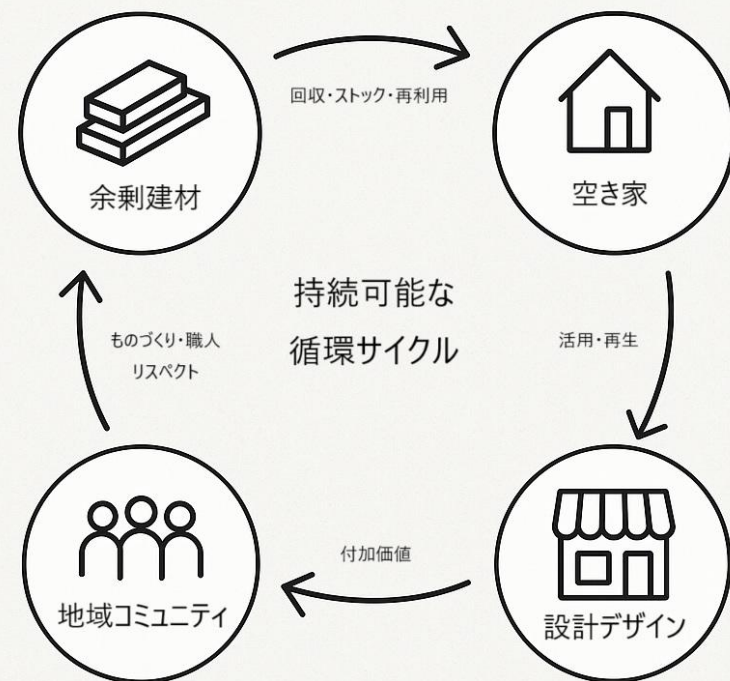
ビジョン：暮らしをつくる全ての人たちがおもしろいやりを大切に幸せになる社会を創造する

会社紹介

戸建て住宅を中心に新築からリノベーションまで環境負荷の少ない建築を目指しています。設計事務所と住宅会社に勤務していた経験から、土地探しから資金計画、企画住宅から注文住宅まで、木造だけではなくS造・RC造の福祉施設や倉庫・事務所建築まで幅広く設計を経験してきました。建築は作品ではなく建築主・施工者と共に一緒に創り上げていくものであり、常に多角的な目線でバランスを考えながら、関わる全ての人たちが幸せになるための最大公約数を探しカタチにしていこうと目指しています。

プロジェクトの経緯

建築現場から余ってしまった余剰建材(未利用建材)が新品なのに大量に廃棄されています。どの会社でも共通して、取っておく場所がない、取っておいても管理できない、手間がかかるという理由で廃棄されることがほとんどです。この余剰建材と地域の社会課題である空き家を活用して、地域の子どもの居場所づくり=地域コミュニティの場づくりを1つのサイクルで解決したいと考えました。単独での解決ではなく1つのサイクルとする理由は、より社会的意義のあることに有効活用することが、同じ課題感を持つ企業から多くの共感を得られ、大きな力となり社会課題の解決に繋がる近道と考えています。



プロジェクトの詳細

余剰建材は住宅会社や建材問屋・販売店から回収し、循環拠点でストック・管理します。余剰建材は空き家を所有しているオーナーや不動産会社、DIY空き家再生家向けにアウトレット価格で販売します。そこに地域の建築士や工務店が設計・デザイン・施工をし付加価値をつけて地域コミュニティの場所として再生します。

今後の展望

このサイクルで具体的な事例をつくるのが直近の目標であり、2026年中に実現させます。持続可能な仕組みにするためには収益化することが最大の課題です。コミュニティデザインの専門家も参画する必要があります。中長期的には一般社団法人化し、会員企業からの会費で運営していくことも考えています。この仕組みを使ってそれぞれの地域の建築士や工務店が地域コミュの場づくりに関わっていくことができるはずです。

■石田将太建築設計室 代表 石田将太 <業種> 建築設計
〔所在地〕：〒002-0852 北海道札幌市北区屯田2条4丁目9-15
〔HP/SNS〕：ishidashota_archi (Instagram)
〔mail〕：ishidashota_archi@outlook.jp